

令和6年度

主要な施策の成果と
予算執行の実績報告

亘理地区行政事務組合

目 次

ページ

I	令和6年度一般会計決算概要	1
II	令和6年度款別決算表	2
III	四半期ごとの収支及び予算執行状況	3
IV	性質別歳出内訳表	4
V	地方債現在高調	4
VI	一般会計の状況	6
	【1款 議会費】	
1	議会の状況	
(1)	定例会及び臨時会	6
(2)	調査及び活動研修	6
	【2款 総務費】	
1	総務管理の状況	
(1)	総務事業	7
(2)	主な支出	9
2	監査委員の状況	
(1)	監査の状況	9
(2)	調査及び活動研修	9
	【3款 衛生費】	
1	葬祭場の状況	
(1)	葬祭場の管理状況	10
(2)	主な支出	10
	【4款 消防費】	
1	消防事務の状況	
(1)	消防職員の研修状況	11
(2)	消防職員の資格取得状況	12
(3)	消防職員の訓練状況	12
(4)	消防の諸活動	13
(5)	予防活動の状況	16
(6)	消防団への訓練指導	17
(7)	県移譲事務の状況	18
(8)	あぶくま消防本部管理職員研修会の開催	18
(9)	緊急消防援助隊活動状況	18
(10)	消防車両資機材等の整備	18
(11)	主な支出	19

I 令和6年度一般会計決算概要

令和6年度における当組合一般会計の決算は、前年度の決算と比べ歳出は9,268万9千円の増であった。これは主に人事院勧告による人件費の増や公共施設等個別施設計画策定業務委託事業、亘理葬祭場耐震診断業務委託事業など、庁舎施設の維持管理として実施した事業費の増によるものである。

歳出の主な内容としては、義務的経費が歳出額の82.6%を占めた。投資的経費では、普通建設事業費において当組合車両更新計画に基づき、岩沼消防署資機材搬送車等を更新したものの、亘理消防署山元分署及び亘理葬祭場災害復旧工事の完了に伴い、前年度に対して397万6千円の減となった。その他の経費では、庁舎施設の老朽化などによる物件費や維持補修費の増加により、1,785万6千円の増となった。

総務管理費では、公共施設等の管理に関する中長期的な施設整備の具体的方針・計画となる公共施設等個別施設計画を策定し、庁舎施設の維持管理に努めた。また、消防力の維持と効率化を図るため、現時点における消防力の運用効果と消防署所の適正配置について調査した。

葬祭業務では、供用開始から50年を経過した亘理葬祭場の耐震性能について調査したほか、火葬炉設備の維持修繕及び霊台車交換工事を行い、施設・設備の維持管理に努めた。

消防業務では、岩沼消防署資機材搬送車、岩沼消防署指揮2号車及び岩沼消防署連絡3号車を更新するとともに、消防業務の情報を管理する消防情報管理装置を部分更新するなど、より効率的な消防体制のもと、地域住民の負託にこたえられるよう整備を行った。

1 決算収支

令和6年度決算規模は、一般会計歳入歳出予算総額14億3,549万7千円に対し、歳入決算額14億3,571万6千円（対前年度比106.0%）、歳出決算額14億1,795万4千円（対前年度比107.0%）、歳入歳出差引額は1,776万2千円となった。

実質収支は、歳入歳出差引額と同じ1,776万2千円となり、そのうち、地方自治法第233条の2の規定により、財政調整基金へ1,517万8千円、亘理葬祭場施設整備基金へ158万4千円を積立てし、残額100万円を令和7年度に繰り越すこととした。

（単位：千円）

区 分	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差 引 額 (A)－(B) (C)	翌年度に繰り 越すべき財源 (D)	実質収支 (C)－(D) (E)	歳計剰余金 積立	純繰越金
令和6年度	1,435,716	1,417,954	17,762	0	17,762	16,762	1,000
令和5年度	1,353,909	1,325,265	28,644	0	28,644	27,643	1,001

Ⅱ 令和6年度款別決算表

1 歳 入

(単位:円・%)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	予算額に 対する収入 増 減 額	収入割合(%)		
							予算率	調定率	構成比
1 分 担 金 及び負担金	1,373,916,000	1,374,033,980	1,374,033,980	0	0	117,980	100.0	100.0	95.7
2 使 用 料 及び手数料	1,892,000	1,977,770	1,977,770	0	0	85,770	104.5	100.0	0.1
3 県支出金	89,000	89,265	89,265	0	0	265	100.3	100.0	0.0
4 財産収入	10,000	10,762	10,762	0	0	762	107.6	100.0	0.0
5 繰 入 金	18,590,000	18,590,000	18,590,000	0	0	0	100.0	100.0	1.3
6 繰 越 金	1,000,000	1,000,908	1,000,908	0	0	908	100.1	100.0	0.1
7 諸 収 入	1,800,000	1,814,100	1,814,100	0	0	14,100	100.8	100.0	0.1
8 組 合 債	38,200,000	38,200,000	38,200,000	0	0	0	100.0	100.0	2.7
合 計	1,435,497,000	1,435,716,785	1,435,716,785	0	0	219,785	100.0	100.0	100.0

2 歳 出

(単位:円・%)

科 目	予算現額	支出済額	不 用 額	執行割合(%)	構成比(%)
1 議 会 費	2,111,000	2,006,328	104,672	95.0	0.1
2 総 務 費	129,560,000	127,734,594	1,825,406	98.6	9.0
3 衛 生 費	42,109,000	40,591,320	1,517,680	96.4	2.9
4 消 防 費	1,118,726,000	1,105,631,745	13,094,255	98.8	78.0
5 公 債 費	141,991,000	141,990,369	631	99.9	10.0
6 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	0.0	0.0
合 計	1,435,497,000	1,417,954,356	17,542,644	98.8	100.0

Ⅲ 四半期ごとの収支及び予算執行状況

1 歳 入

(単位:円・%)

区 分	第1・四半期 (4～6月)	第2・四半期 (7～9月)	第3・四半期 (10～12月)	第4・四半期 (1～3月)	出 納 整 理 期 間	合 計
予 算 額	1,420,113,000	1,420,113,000	1,426,971,000	1,435,497,000	1,435,497,000	
1 分 担 金 及び負担金	675,176,235	337,034,000	339,988,835	0	21,834,910	1,374,033,980
2 使 用 料 及び手 数 料	323,660	487,760	661,000	505,350	0	1,977,770
3 県 支 出 金	0	89,265	0	0	0	89,265
4 財 産 収 入	0	0	0	10,762	0	10,762
5 繰 入 金	0	0	0	18,590,000	0	18,590,000
6 繰 越 金	1,000,908	0	0	0	0	1,000,908
7 諸 収 入	126,390	159,049	1,159,847	291,331	77,483	1,814,100
8 組 合 債	0	0	0	24,200,000	14,000,000	38,200,000
合 計	676,627,193	337,770,074	341,809,682	43,597,443	35,912,393	1,435,716,785
歳入累計(A)	676,627,193	1,014,397,267	1,356,206,949	1,399,804,392	1,435,716,785	
予 算 に 対 す る 収入割合(%)	47.6	71.4	95.0	97.5	100.0	

2 歳 出

(単位:円・%)

区 分	第1・四半期 (4～6月)	第2・四半期 (7～9月)	第3・四半期 (10～12月)	第4・四半期 (1～3月)	出 納 整 理 期 間	合 計
予 算 額	1,420,113,000	1,420,113,000	1,426,971,000	1,435,497,000	1,435,497,000	
1 議 会 費	214,128	0	1,335,950	404,000	52,250	2,006,328
2 総 務 費	20,947,071	15,685,506	23,023,461	49,375,995	18,702,561	127,734,594
3 衛 生 費	6,435,532	6,401,908	13,625,377	12,622,206	1,506,297	40,591,320
4 消 防 費	289,173,942	192,769,526	302,809,176	265,465,333	55,413,768	1,105,631,745
5 公 債 費	0	70,997,658	0	70,992,711	0	141,990,369
6 予 備 費	0	0	0	0	0	0
合 計	316,770,673	285,854,598	340,793,964	398,860,245	75,674,876	1,417,954,356
歳出累計(B)	316,770,673	602,625,271	943,419,235	1,342,279,480	1,417,954,356	
予 算 執 行 割 合 (%)	22.3	42.4	66.1	93.5	98.8	
公金現在高 (A) - (B)	359,856,520	411,771,996	412,787,714	57,524,912	17,762,429	

Ⅳ 性質別歳出内訳表

(単位:千円・%)

区 分	令和6年度				令和5年度			
	決 算 額	構 成 比 (%)	前年比較 増 減 額	前年対比 (%)	決 算 額	構 成 比 (%)	前年比較 増 減 額	前年対比 (%)
義務的経費	1,171,648	82.6	78,809	107.2	1,092,839	82.5	△20,078	98.2
人 件 費	1,014,983	71.6	73,411	107.8	941,572	71.1	△25,872	97.3
扶 助 費	14,675	1.0	4,280	141.2	10,395	0.8	610	106.2
公 債 費	141,990	10.0	1,118	100.8	140,872	10.6	5,184	103.8
投資的経費	55,710	3.9	△3,976	93.3	59,686	4.5	15,369	134.7
普通建設 事業費	55,710	3.9	△3,976	93.3	59,686	4.5	15,369	134.7
うち補助 事業費	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0.0
うち単独 事業費	55,710	3.9	△3,976	93.3	59,686	4.5	15,369	134.7
その他の経費	190,596	13.5	17,856	110.3	172,740	13.0	16,163	110.3
物 件 費	141,477	10.0	10,265	107.8	131,212	9.9	△2,257	98.3
補助費等	13,109	0.9	45	100.3	13,064	1.0	2,471	123.3
積 立 金	25,010	1.8	9	100.0	25,001	1.9	25,000	2,500,100.0
維 持 補 修 費	11,000	0.8	7,537	317.6	3,463	0.2	△9,051	27.7
合 計	1,417,954	100.0	92,689	107.0	1,325,265	100.0	11,454	100.9

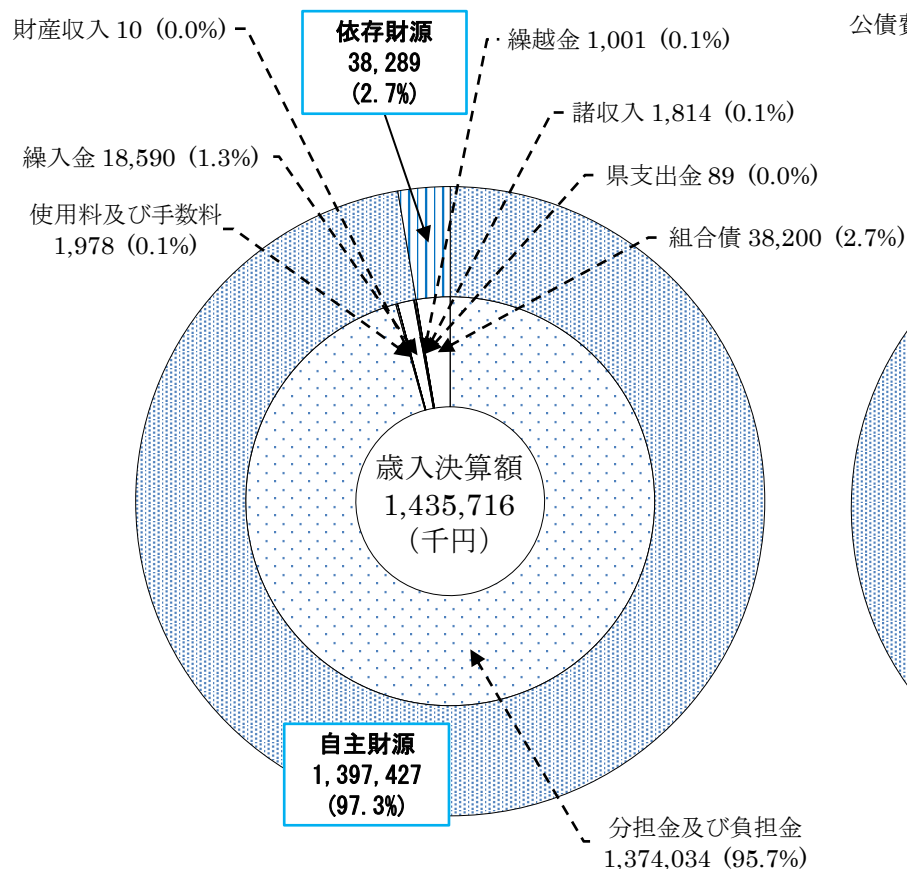
Ⅴ 地方債現在高調

(単位:千円)

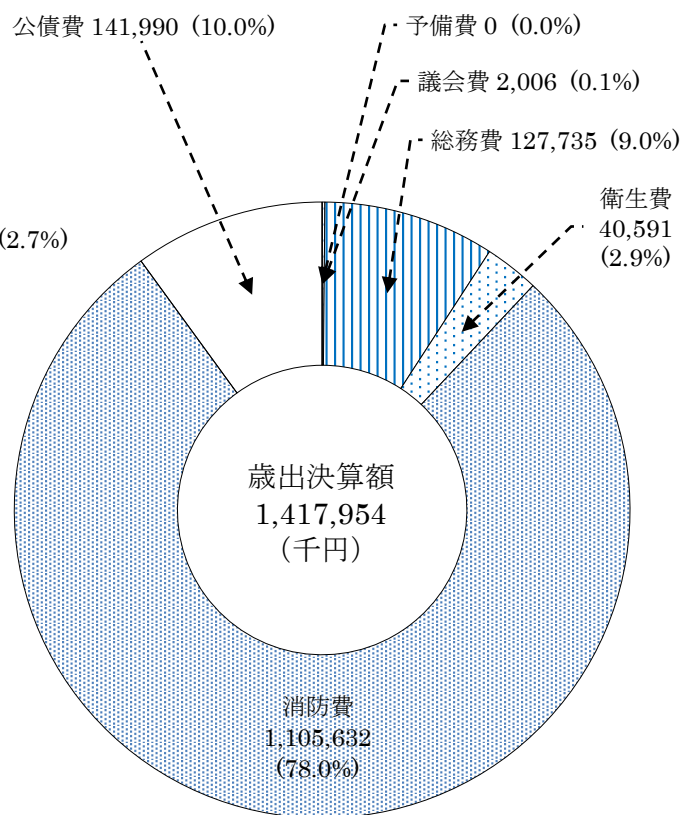
区 分	令 和 5 年 度 末 現 在 高	令 和 6 年 度 借 入 額	令 和 6 年 度 償 還 元 金 額	差 引 現 在 高
組 合 債	505,276	38,200	141,810	401,666
合 計	505,276	38,200	141,810	401,666

令和6年度 亘理地区行政事務組合一般会計決算額

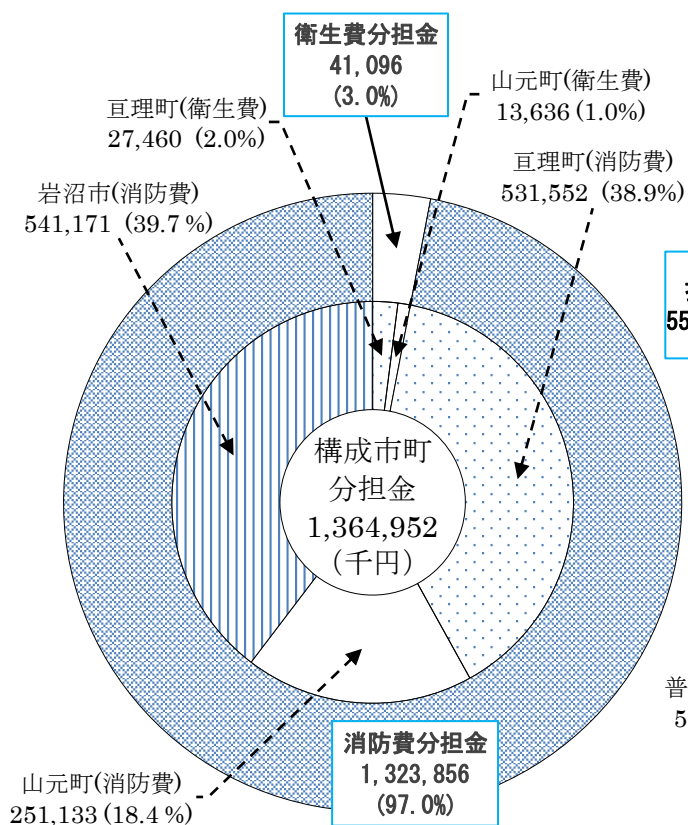
【歳入】



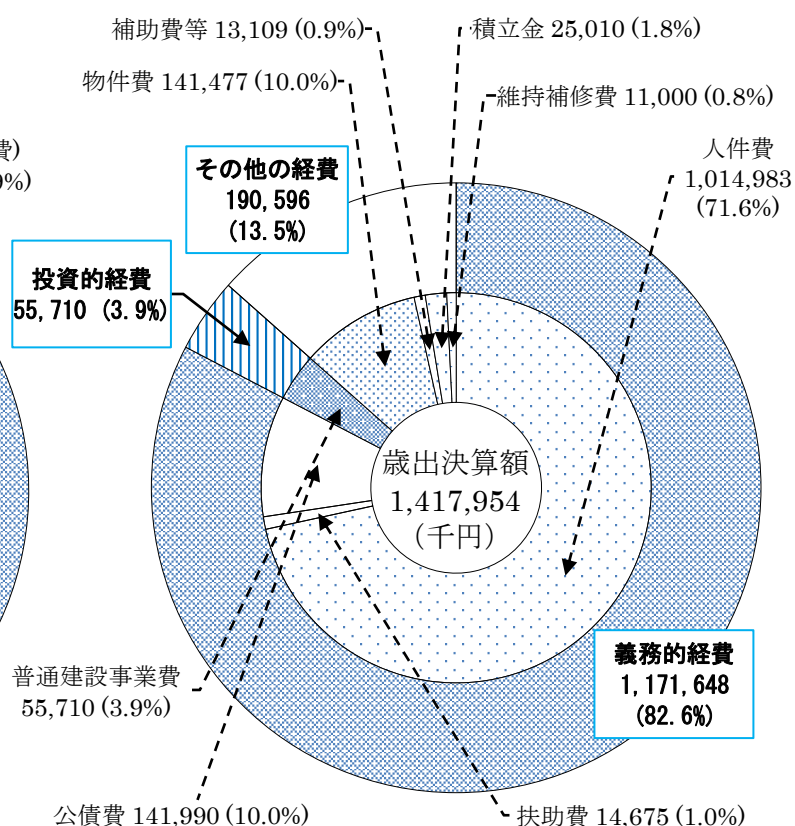
【歳出】



【分担金の割合】



【性質別決算内訳】



VI 一般会計の状況

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況													
1 款 議会費 2,006 1 議会の状況 2,006	(1) 定例会及び臨時会													
議会の開催状況				議会審議状況										
				管理者提出					議員提出					
区 分	招 集 開 催	会 期 延 日 数	会 議 延 日 数	審 議 件 数	原 案 可 決	修 正 可 決	否 決	撤 回	審 議 件 数	原 案 可 決	修 正 可 決	否 決	撤 回	
定 例	2	2	2	9	9				2	2				
臨 時	2	2	2	5	5									
(2) 調査及び活動研修														
先進地視察調査（11月6日～11月8日）														
【調査地】山形県酒田市：（酒田地区広域行政組合消防本部） （酒田市役所八幡総合支所） 秋田県仙北郡美郷町：（大曲仙北広域市町村圏組合南部斎場） 福島県喜多方市：（喜多方地方広域市町村圏組合消防本部）														
【事項】酒田市：最新消防庁舎の建設状況 豪雨災害被害地区の災害対応 仙北郡美郷町：最新火葬施設の建設状況 喜多方市：最新消防庁舎の建設状況														

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																						
2款	(1) 総務事業																																																						
1 総務費 127,735	ア 職員の健康診査 職員の健康状態を把握して業務に起因する健康障害を未然に防止するとともに、病気の早期発見・早期治療や再発防止、健康増進のため、各種健康診査を行った。																																																						
1 総務管理 の状況 127,568	<table><tr><th>健 診 名</th><th>受診者数</th><th>実 施 月</th><th>備考</th></tr><tr><td>定期健診 (B型・C型肝炎抗体検査)</td><td>103人 (102人)</td><td>6月</td><td></td></tr><tr><td>人間ドック (B型・C型肝炎抗体検査)</td><td>33人 (20人)</td><td>6月～7月</td><td rowspan="2">共済組合 助成事業</td></tr><tr><td>脳ドック</td><td>12人</td><td>6月</td></tr><tr><td>ストレスチェック</td><td>138人</td><td>7月</td><td></td></tr></table>				健 診 名	受診者数	実 施 月	備考	定期健診 (B型・C型肝炎抗体検査)	103人 (102人)	6月		人間ドック (B型・C型肝炎抗体検査)	33人 (20人)	6月～7月	共済組合 助成事業	脳ドック	12人	6月	ストレスチェック	138人	7月																																	
健 診 名	受診者数	実 施 月	備考																																																				
定期健診 (B型・C型肝炎抗体検査)	103人 (102人)	6月																																																					
人間ドック (B型・C型肝炎抗体検査)	33人 (20人)	6月～7月	共済組合 助成事業																																																				
脳ドック	12人	6月																																																					
ストレスチェック	138人	7月																																																					
	イ 職員研修 社会情勢の変化や多様化する住民ニーズに対応できる職員の育成に向けて、階層別研修をはじめ各種研修に受講者を派遣した。																																																						
	<table><tr><th>研 修 名</th><th>受講者数</th><th>場 所</th></tr><tr><td>一般職員研修Ⅱ</td><td>2人</td><td>県市町村職員研修所</td></tr><tr><td>監督者研修Ⅰ</td><td>2人</td><td>〃</td></tr><tr><td>管理者研修Ⅰ</td><td>3人</td><td>〃</td></tr><tr><td>契約事務研修</td><td>2人</td><td>〃</td></tr><tr><td>条例・規則作成研修</td><td>6人</td><td>〃</td></tr><tr><td>コミュニケーション研修</td><td>1人</td><td>〃</td></tr><tr><td>クレーム対応研修</td><td>2人</td><td>〃</td></tr><tr><td>タイムマネジメント研修</td><td>1人</td><td>〃</td></tr><tr><td>コーチング研修</td><td>1人</td><td>〃</td></tr><tr><td>危機管理コース</td><td>2人</td><td>〃</td></tr><tr><td>マスメディア対応コース</td><td>2人</td><td>〃</td></tr><tr><td>ハラスメント防止指導者養成研修</td><td>2人</td><td>〃</td></tr><tr><td>接遇研修指導者養成研修</td><td>1人</td><td>〃</td></tr><tr><td>給与制度研修会</td><td>2人</td><td>〃</td></tr><tr><td>行政課題研修Ⅰ</td><td>1人</td><td>宮城県自治会館</td></tr><tr><td>女性活躍推進研修会</td><td>2人</td><td>T K P ガーデンシティ</td></tr></table>				研 修 名	受講者数	場 所	一般職員研修Ⅱ	2人	県市町村職員研修所	監督者研修Ⅰ	2人	〃	管理者研修Ⅰ	3人	〃	契約事務研修	2人	〃	条例・規則作成研修	6人	〃	コミュニケーション研修	1人	〃	クレーム対応研修	2人	〃	タイムマネジメント研修	1人	〃	コーチング研修	1人	〃	危機管理コース	2人	〃	マスメディア対応コース	2人	〃	ハラスメント防止指導者養成研修	2人	〃	接遇研修指導者養成研修	1人	〃	給与制度研修会	2人	〃	行政課題研修Ⅰ	1人	宮城県自治会館	女性活躍推進研修会	2人	T K P ガーデンシティ
研 修 名	受講者数	場 所																																																					
一般職員研修Ⅱ	2人	県市町村職員研修所																																																					
監督者研修Ⅰ	2人	〃																																																					
管理者研修Ⅰ	3人	〃																																																					
契約事務研修	2人	〃																																																					
条例・規則作成研修	6人	〃																																																					
コミュニケーション研修	1人	〃																																																					
クレーム対応研修	2人	〃																																																					
タイムマネジメント研修	1人	〃																																																					
コーチング研修	1人	〃																																																					
危機管理コース	2人	〃																																																					
マスメディア対応コース	2人	〃																																																					
ハラスメント防止指導者養成研修	2人	〃																																																					
接遇研修指導者養成研修	1人	〃																																																					
給与制度研修会	2人	〃																																																					
行政課題研修Ⅰ	1人	宮城県自治会館																																																					
女性活躍推進研修会	2人	T K P ガーデンシティ																																																					

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況
	ウ 組合ホームページ 組合議会、行財政の状況及び消防並びに葬祭業務に関する情報等について、インターネットの持つ広域性、即時性及び双方向性を最大限に活用し、組合の最新情報を積極的に提供した。 エ 職員メンタルヘルス講座 職員一人ひとりが、メンタルヘルスに対する知識を身に付け、自分だけではなく、職員間における対応を理解し、心身良好な職場環境を築くことを目的として、メンタルヘルス講座を開催した。 講 師：一般社団法人メンタルパイロテージジャパン オフィスろごす 久慈道 千津 氏 開催日程：令和6年9月19・20日 9時～10時30分 オ 情報セキュリティ研修会 組合が保有する情報資産を適切に保護するため、セキュリティに関する基礎知識の習得とセキュリティ対策のスキル向上を目指し、職員を講師とした教育研修を実施した。 開催日程：令和6年10月25・28日 9時～10時00分 カ 消防力適正配置等調査業務委託事業 地域の現状や社会経済情勢、さらには財政負担等の視点を踏まえつつ、消防力の維持と効率化を図るため、現時点における消防力の運用効果と消防署所の適正配置について調査した。 キ 公共施設等個別施設計画策定業務委託事業 公共施設等の管理に関する基本的な考え方と整合を図りながら、中長期的な施設整備の具体的方針・計画となる「個別施設計画（長寿命化計画）」を策定した。 ク 岩沼消防署給水用ポンプ修繕工事 老朽化により岩沼消防署給水用ポンプのコントローラユニットに不具合が生じていることから、当該機器の交換工事を行った。 ケ 岩沼消防署昇降機修繕工事 岩沼消防署昇降機設備を構成する、主ロープ、ドア開閉装置駆動用ベルト等の更新推奨時期を迎えた主要部品の更新を行った。

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況			
	(2) 主な支出			
	(単位:円)			
	消防力適正配置等調査業務委託料	4,510,000		
	公共施設等個別施設計画策定業務委託料	3,905,000		
	I C T 端末等一式賃借料	3,593,040		
	ファイルサーバーシステム及び業務用パソコン賃借料(再リース)	2,715,680		
	給与計算事務委託料	2,398,440		
	職員健康診断委託料	1,891,223		
	財務書類作成支援業務委託料	1,650,000		
	岩沼消防署給水用ポンプ修繕工事	1,562,000		
	岩沼消防署昇降機修繕工事	1,507,231		
	グループウェアシステム賃借料	1,412,400		
	複合機賃借料(岩沼)	1,308,120		
	複合機賃借料(亘理)	1,301,520		
	人事評価制度運用アドバイザー業務委託料	1,293,600		
	岩沼消防署エアコン保守点検業務委託料	1,174,800		
人事評価システム使用料	1,089,000			
2 監査委員 の状況 167	(1) 監査の状況			
	最小の経費で最大の効果を上げるように事務・事業が執り行われているか、公正な視点で監査及び審査を行った。			
	ア 令和5年度亘理地区行政事務組合一般会計決算の審査			
	イ 令和6年度一般会計歳入歳出予算に関する事務の執行及び事業の監査			
	区 分	一般監査	決算審査	その他
	回 数	2	1	0
	所要日数	2	1	0
	(2) 調査及び活動研修			
	先進地視察調査(11月6日～11月8日)			
	【調査地】山形県酒田市:(酒田地区広域行政組合消防本部)			
	(酒田市役所八幡総合支所)			
	秋田県仙北郡美郷町:(大曲仙北広域市町村圏組合南部斎場)			
	福島県喜多方市:(喜多方地方広域市町村圏組合消防本部)			
	【事 項】酒 田 市:最新消防庁舎の建設状況			
	豪雨災害被害地区の災害対応			
	仙北郡美郷町:最新火葬施設の建設状況			
喜 多 方 市:最新消防庁舎の建設状況				

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況			
3款 衛生費 40,591 1 葬祭場 の状況 40,591	(1) 葬祭場の管理状況			
	遺族及び利用者が心静かに故人の追悼ができるよう、環境及び設備の整備等を行い施設保全に努めた。また、供用開始から50年を経過した亘理葬祭場の耐震性能について調査したほか、火葬炉設備の維持修繕及び霊台車交換工事を行い、施設・設備の維持管理に努めた。			
	葬祭場利用状況			(単位:件)
	区 分	R 6 年度	R 5 年度	増 減
	亘 理 町	409	396	13
	山 元 町	216	214	2
	他 の 市 町	37	31	6
	合 計	662	641	21
	(2) 主な支出			
				(単位:円)
亘理葬祭場耐震診断業務委託料		6,413,000		
火葬炉維持修繕及び霊台車交換工事		6,160,000		
燃料費(重油:火葬燃料)		4,243,800		

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																											
4款 消防費 1,105,632 1 消防事務 の状況 1,105,632	(1) 消防職員の研修状況																											
	ア 宮城県消防学校入校 消防業務に必要な知識を段階的に習得するための教育を受講した。																											
	<table><tr><td colspan="2">教育訓練種別</td><td>入校者数</td></tr><tr><td colspan="2">初任総合教育（総合第28期）</td><td>5人</td></tr><tr><td rowspan="4">専科教育</td><td>特殊災害科（第8期）</td><td>2人</td></tr><tr><td>危険物科（第8期）</td><td>2人</td></tr><tr><td>救助科（現任職員）</td><td>1人</td></tr><tr><td>救急科（現任職員）</td><td>1人</td></tr><tr><td>幹部教育</td><td>初級幹部科（第37期）</td><td>2人</td></tr><tr><td rowspan="3">特別教育</td><td>救助隊員再教育講習（第7期）</td><td>2人</td></tr><tr><td>救急救命士再教育講習（第15期）</td><td>1人</td></tr><tr><td>女性消防職員キャリアアップ講習</td><td>1人</td></tr></table>			教育訓練種別		入校者数	初任総合教育（総合第28期）		5人	専科教育	特殊災害科（第8期）	2人	危険物科（第8期）	2人	救助科（現任職員）	1人	救急科（現任職員）	1人	幹部教育	初級幹部科（第37期）	2人	特別教育	救助隊員再教育講習（第7期）	2人	救急救命士再教育講習（第15期）	1人	女性消防職員キャリアアップ講習	1人
	教育訓練種別		入校者数																									
	初任総合教育（総合第28期）		5人																									
	専科教育	特殊災害科（第8期）	2人																									
		危険物科（第8期）	2人																									
		救助科（現任職員）	1人																									
		救急科（現任職員）	1人																									
	幹部教育	初級幹部科（第37期）	2人																									
特別教育	救助隊員再教育講習（第7期）	2人																										
	救急救命士再教育講習（第15期）	1人																										
	女性消防職員キャリアアップ講習	1人																										
イ 消防大学校入校 警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に習得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させるための教育を受講した。																												
<table><tr><td colspan="2">教育課程</td><td>入校者数</td></tr><tr><td>専科教育</td><td>警防科（第115期）</td><td>1人</td></tr></table>			教育課程		入校者数	専科教育	警防科（第115期）	1人																				
教育課程		入校者数																										
専科教育	警防科（第115期）	1人																										
ウ 救急救命士研修 救急救命士は、常に一定水準以上の高度な救急技術を求められていることから、東北救急医学会をはじめとする研修会等に参加し、事例研究を通じた技能熟達に努めた。（30回、43名）																												
エ 救命救急研修所入所 国家試験資格である救急救命士を養成するため、救急救命東京研修所にて研修を受講させ、資格取得を成した。																												
<table><tr><td>研修機関</td><td>教育訓練種別</td><td>入校者数</td></tr><tr><td>救急救命東京研修所</td><td>救急救命士新規養成課程（前後期）</td><td>2人</td></tr></table>			研修機関	教育訓練種別	入校者数	救急救命東京研修所	救急救命士新規養成課程（前後期）	2人																				
研修機関	教育訓練種別	入校者数																										
救急救命東京研修所	救急救命士新規養成課程（前後期）	2人																										

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																												
	オ 救急救命士の病院研修 住民への質の高い病院前救護を提供するため、救急救命士として必要な救急医療の知識、技術の維持・向上を目的に指定医療機関で研修を受けた。 <table border="1" data-bbox="507 443 1332 768"> <thead> <tr> <th>指定医療機関</th><th>人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合南東北病院</td><td>8 人</td></tr> <tr> <td>仙台市救急ステーション</td><td>4 人</td></tr> <tr> <td>イムス明理会仙台総合病院</td><td>2 人</td></tr> <tr> <td>東北医科薬科大学病院</td><td>2 人</td></tr> <tr> <td>宮城病院</td><td>2 人</td></tr> </tbody> </table> カ 緊急自動車運転技能者研修 消防車・救急車の緊急運転従事者に必要な知識のほか、交通危険学の観点から安全補助要領等の技能について習得させるとともに、指導者の育成と指導要領の確立及び運転者の知識・技能向上を目的に、茨城県安全運転中央研修所で受講した。(4日間、2名) (2) 消防職員の資格取得状況 消防業務に必要とされる、各種資格の取得に努めた。 <table border="1" data-bbox="507 1155 1332 1592"> <thead> <tr> <th>資格種別</th><th>取得者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士</td><td>2 人</td></tr> <tr> <td>二級小型船舶操縦士</td><td>2 人</td></tr> <tr> <td>小型移動式クレーン運転技能講習</td><td>1 人</td></tr> <tr> <td>玉掛け技能講習</td><td>2 人</td></tr> <tr> <td>酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習</td><td>1 人</td></tr> <tr> <td>大型自動車運転免許</td><td>4 人</td></tr> <tr> <td>予防技術資格者</td><td>1 人</td></tr> </tbody> </table> (3) 消防職員の訓練状況 ア 身近な災害対応への訓練 社会情勢の変化に伴い、火災はもとより、交通事故、水難事故、特殊災害等の災害形態も複雑多様化し、従来の消防活動に加え、新たな知識及び消防戦略が必要となっている。これらの災害を想定し小隊・署単位で警防・救助・救急訓練を計画的に実施した。 イ 大規模災害に備えた訓練 あぶくま消防本部の非常災害消防訓練を実施し、災害対応力の維持に努めた。また、緊急消防援助隊の強化、高度化を目的とした合同訓練へ積極的に参加し技術の向上を図った。	指定医療機関	人数	総合南東北病院	8 人	仙台市救急ステーション	4 人	イムス明理会仙台総合病院	2 人	東北医科薬科大学病院	2 人	宮城病院	2 人	資格種別	取得者数	救急救命士	2 人	二級小型船舶操縦士	2 人	小型移動式クレーン運転技能講習	1 人	玉掛け技能講習	2 人	酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習	1 人	大型自動車運転免許	4 人	予防技術資格者	1 人
指定医療機関	人数																												
総合南東北病院	8 人																												
仙台市救急ステーション	4 人																												
イムス明理会仙台総合病院	2 人																												
東北医科薬科大学病院	2 人																												
宮城病院	2 人																												
資格種別	取得者数																												
救急救命士	2 人																												
二級小型船舶操縦士	2 人																												
小型移動式クレーン運転技能講習	1 人																												
玉掛け技能講習	2 人																												
酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習	1 人																												
大型自動車運転免許	4 人																												
予防技術資格者	1 人																												

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																		
	名 称	月 日	参加者数	実施主体																															
	水防技術講習会	6 月 15 日	3 人	名取川・阿武隈川下流 洪水予報・水防・災害 情報連絡会																															
	県消防協会名取・亘理 地区支部水防訓練	6 月 23 日	12 人	県消防協会 名取・亘理地区支部																															
	県消防救助技術指導会	7 月 2 日	16 人	県消防長会																															
	非常災害消防訓練	7 月 5 日	100 人	あぶくま消防本部																															
	岩沼市総合防災訓練	7 月 7 日	2 人	岩沼市																															
	宮城県 9. 1 防災訓練	9 月 1 日	5 人	宮城県・南三陸町																															
	亘理町総合防災訓練	9 月 1 日	9 人	亘理町																															
	山元町総合防災訓練	10 月 20 日	22 人	山元町																															
	緊急消防援助隊北海道 東北ブロック合同訓練	11 月 2、3 日	6 人	秋田県・秋田市																															
	(4) 消防の諸活動 ア 警防活動の状況 (ア) 火災出動 火災出動件数は 35 件で前年度より 2 件増加し火災による損害額は、合計 197,584 千円であった。 <table border="1" data-bbox="496 1258 1444 1641"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災の種別</th><th colspan="2">出動件数</th><th rowspan="2">増減</th><th rowspan="2">R6年度の 主な出火原因</th></tr> <tr> <th>R6年度</th><th>R5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物火災</td><td>21</td><td>13</td><td>8</td><td>電気関係、放火</td></tr> <tr> <td>車両火災</td><td>2</td><td>4</td><td>△2</td><td>配線器具、放火</td></tr> <tr> <td>林野火災</td><td>0</td><td>1</td><td>△1</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>12</td><td>15</td><td>△3</td><td>ごみ焼却</td></tr> <tr> <td>計</td><td>35</td><td>33</td><td>2</td><td></td></tr> </tbody> </table> (イ) 警戒出動 警戒出動件数は 36 件で、前年度より 13 件増加した。交通事故における危険物漏洩や強風などの自然災害により人命危険が予想される時、災害の被害拡大防止のために出動した。 (ウ) 偵察出動 偵察出動件数は 139 件で、前年度より 29 件増加した。火災と紛らわしい火煙の発見又は通報により、その真偽を確認するために出動した。				火災の種別	出動件数		増減	R6年度の 主な出火原因	R6年度	R5年度	建物火災	21	13	8	電気関係、放火	車両火災	2	4	△2	配線器具、放火	林野火災	0	1	△1		その他	12	15	△3	ごみ焼却	計	35	33	2
火災の種別	出動件数		増減	R6年度の 主な出火原因																															
	R6年度	R5年度																																	
建物火災	21	13	8	電気関係、放火																															
車両火災	2	4	△2	配線器具、放火																															
林野火災	0	1	△1																																
その他	12	15	△3	ごみ焼却																															
計	35	33	2																																

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																					
	(エ) 地水利調査 地水利調査は、消防活動に重要な意義を持つものであることから、毎月計画的に管内の地理、消火栓、防火水槽、河川、池、沼等を調査し、現状把握に努めた。																																																					
	イ 救急・救助活動の状況																																																					
	(ア) 救急出動 救急出動件数は5,178件で、前年度より31件減少した。																																																					
	① 救急出動及び搬送人員																																																					
	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R6年度</th><th colspan="2">R5年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr><tr><th>件 数</th><th>人 数</th><th>件 数</th><th>人 数</th><th>件 数</th><th>人 数</th></tr><tr><td>岩 沼 市</td><td>2,679</td><td>2,249</td><td>2,676</td><td>2,334</td><td>3</td><td>△85</td></tr><tr><td>亘 理 町</td><td>1,701</td><td>1,544</td><td>1,631</td><td>1,497</td><td>70</td><td>47</td></tr><tr><td>山 元 町</td><td>788</td><td>734</td><td>898</td><td>806</td><td>△110</td><td>△72</td></tr><tr><td>管 外</td><td>10</td><td>7</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr><tr><td>計</td><td>5,178</td><td>4,534</td><td>5,209</td><td>4,639</td><td>△31</td><td>△105</td></tr></table>						区 分	R6年度		R5年度		増 減		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	岩 沼 市	2,679	2,249	2,676	2,334	3	△85	亘 理 町	1,701	1,544	1,631	1,497	70	47	山 元 町	788	734	898	806	△110	△72	管 外	10	7	4	2	6	5	計	5,178	4,534	5,209	4,639	△31	△105
	区 分	R6年度		R5年度		増 減																																																
		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数																																															
	岩 沼 市	2,679	2,249	2,676	2,334	3	△85																																															
	亘 理 町	1,701	1,544	1,631	1,497	70	47																																															
	山 元 町	788	734	898	806	△110	△72																																															
管 外	10	7	4	2	6	5																																																
計	5,178	4,534	5,209	4,639	△31	△105																																																
② 事故の種別 (単位：件)																																																						
<table><tr><th>区 分</th><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>急 病</td><td>3,340</td><td>3,362</td><td>△22</td></tr><tr><td>一般負傷</td><td>663</td><td>614</td><td>49</td></tr><tr><td>転 院</td><td>772</td><td>798</td><td>△26</td></tr><tr><td>交通事故</td><td>211</td><td>252</td><td>△41</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>192</td><td>183</td><td>9</td></tr><tr><td>計</td><td>5,178</td><td>5,209</td><td>△31</td></tr></table>						区 分	R6年度	R5年度	増 減	急 病	3,340	3,362	△22	一般負傷	663	614	49	転 院	772	798	△26	交通事故	211	252	△41	そ の 他	192	183	9	計	5,178	5,209	△31																					
区 分	R6年度	R5年度	増 減																																																			
急 病	3,340	3,362	△22																																																			
一般負傷	663	614	49																																																			
転 院	772	798	△26																																																			
交通事故	211	252	△41																																																			
そ の 他	192	183	9																																																			
計	5,178	5,209	△31																																																			
③ 地域別医療機関搬送人員 (単位：人)																																																						
<table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td rowspan="3">管 内</td><td>岩 沼 市</td><td>1,615</td><td>1,564</td><td>51</td></tr><tr><td>亘理・山元町</td><td>274</td><td>374</td><td>△100</td></tr><tr><td>小 計</td><td>1,889</td><td>1,938</td><td>△49</td></tr><tr><td rowspan="4">管 外</td><td>仙 台 市</td><td>2,162</td><td>2,259</td><td>△97</td></tr><tr><td>名 取 市</td><td>93</td><td>74</td><td>19</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>390</td><td>368</td><td>22</td></tr><tr><td>小 計</td><td>2,645</td><td>2,701</td><td>△56</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>4,534</td><td>4,639</td><td>△105</td></tr></table>						区 分		R6年度	R5年度	増 減	管 内	岩 沼 市	1,615	1,564	51	亘理・山元町	274	374	△100	小 計	1,889	1,938	△49	管 外	仙 台 市	2,162	2,259	△97	名 取 市	93	74	19	そ の 他	390	368	22	小 計	2,645	2,701	△56	合 計		4,534	4,639	△105									
区 分		R6年度	R5年度	増 減																																																		
管 内	岩 沼 市	1,615	1,564	51																																																		
	亘理・山元町	274	374	△100																																																		
	小 計	1,889	1,938	△49																																																		
管 外	仙 台 市	2,162	2,259	△97																																																		
	名 取 市	93	74	19																																																		
	そ の 他	390	368	22																																																		
	小 計	2,645	2,701	△56																																																		
合 計		4,534	4,639	△105																																																		

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況							
	(イ) 救助出動 救助出動件数は４７件で、前年度より２件減少した。							
	区 分		R6年度		R5年度		増 減	
			件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
	火 災		2	2	0	0	2	2
	交通事故		23	18	20	11	3	7
	水難事故		6	7	6	3	0	4
	風水害等自然災害事故		0	0	0	0	0	0
	機 械 による 事 故		1	1	1	1	0	0
	建 物 等 による 事 故		8	6	17	8	△9	△2
	ガス及 び酸 欠 事 故		0	0	0	0	0	0
	そ の 他		7	5	5	4	2	1
	計		47	39	49	27	△2	12
	(ウ) 応急手当等の指導 管内の各種団体や企業、個人を対象に救命講習を実施し、応急手当の普及啓発に努めた。							
	区 分		R6年度		R5年度		増 減	
			回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
普通救命講習会		68	818	68	922	0	△104	
上級救命講習会		1	19	1	12	0	7	
一般救命講習会		79	2,855	66	1,573	13	1,282	
計		148	3,692	135	2,507	13	1,185	
(エ) ドクターヘリの運用状況 ドクターヘリでの救急搬送件数は９件で、急病、交通事故等で生命の危険が切迫している重症傷病者に対し、救急の専門医師及び看護師が救急現場で早期治療を開始できることから、傷病者の救命率向上に大きく寄与している。								

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																			
	(5) 予防活動の状況 防火対象物、危険物施設の立入検査に重点を置き、特に重大違反対象物に対し違反処理を見据えた是正指導を実施した。また、住宅用火災警報器の設置、維持管理、更新時期等について、各市町広報紙、ホームページへの掲載、啓発用チラシを配布したほか、各市町の路線バスにステッカー掲示を依頼するなど、普及促進に取り組んだ。 ア 防火対象物等の立入検査状況 学校・工場・病院等の防火対象物及び危険物施設を立入検査し、災害発生防止の指導を行った。 (単位:件) <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">R6年度 施設総数</th><th colspan="3">立入検査実施件数</th></tr><tr><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>防火対象物</td><td>2,593</td><td>886</td><td>788</td><td>98</td></tr><tr><td>危険物施設</td><td>361</td><td>221</td><td>172</td><td>49</td></tr><tr><td>計</td><td>2,954</td><td>1,107</td><td>960</td><td>147</td></tr></table> イ 建築確認同意事務の状況 消防法第7条による建築確認同意について、消防法令に基づき審査を行い、適正な処理を行った。 (単位:件) <table><tr><th>区 分</th><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>建築確認同意</td><td>125</td><td>128</td><td>△3</td></tr></table> ウ 危険物取扱事務の状況 危険物の規制に関する関係法令等の規定に基づき、書類審査及び施設検査を行った。 (単位:件) <table><tr><th>区 分</th><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>設置及び変更許可</td><td>23</td><td>13</td><td>10</td></tr><tr><td>完成検査及び水張検査</td><td>23</td><td>15</td><td>8</td></tr><tr><td>仮使用承認</td><td>11</td><td>8</td><td>3</td></tr><tr><td>計</td><td>57</td><td>36</td><td>21</td></tr></table> エ 予防広報活動 火災予防運動期間中に女性防火クラブ員による巡回広報を実施、また、商業施設にて防火チラシの配布等の街頭広報を行った。	区 分	R6年度 施設総数	立入検査実施件数			R6年度	R5年度	増 減	防火対象物	2,593	886	788	98	危険物施設	361	221	172	49	計	2,954	1,107	960	147	区 分	R6年度	R5年度	増 減	建築確認同意	125	128	△3	区 分	R6年度	R5年度	増 減	設置及び変更許可	23	13	10	完成検査及び水張検査	23	15	8	仮使用承認	11	8	3	計	57	36	21
区 分	R6年度 施設総数			立入検査実施件数																																																
		R6年度	R5年度	増 減																																																
防火対象物	2,593	886	788	98																																																
危険物施設	361	221	172	49																																																
計	2,954	1,107	960	147																																																
区 分	R6年度	R5年度	増 減																																																	
建築確認同意	125	128	△3																																																	
区 分	R6年度	R5年度	増 減																																																	
設置及び変更許可	23	13	10																																																	
完成検査及び水張検査	23	15	8																																																	
仮使用承認	11	8	3																																																	
計	57	36	21																																																	

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																				
	オ 各地区防災安全協会事務局 岩沼市及び亘理郡内の危険物取扱事業所、防火管理者を有する事業所並びに高圧ガスを取扱う事業所を会員とする組織の事務を行っている。 年間事業として、防火講習会、視察研修、救命講習会、防火広報活動（防火キャラバン及びポスター配布）、防災情報の提供等を行った。																																																				
	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R6年度</th><th colspan="2">R5年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr><tr><th colspan="2">事業所数</th><th colspan="2">事業所数</th><th colspan="2">事業所数</th></tr><tr><td>防災安全協会</td><td colspan="2">354</td><td colspan="2">379</td><td colspan="2">△25</td></tr></table>						区 分	R6年度		R5年度		増 減		事業所数		事業所数		事業所数		防災安全協会	354		379		△25																												
	区 分	R6年度		R5年度		増 減																																															
		事業所数		事業所数		事業所数																																															
	防災安全協会	354		379		△25																																															
	カ 各地区女性防火クラブ事務局 岩沼市女性防火クラブ連絡協議会、亘理町女性防火クラブ連合会及び山元町女性防火クラブ連合会の事務を行っている。 各地区女性防火クラブでは、女性防火クラブの健全な育成、防火防災思想の普及を進め、安全で住みよい地域づくりを目指し活動を行った。																																																				
	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R6年度</th><th colspan="2">R5年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr><tr><th>団体数</th><th>会員数</th><th>団体数</th><th>会員数</th><th>団体数</th><th>会員数</th></tr><tr><td>地区防火クラブ</td><td>53</td><td>9, 193</td><td>65</td><td>10, 392</td><td>△12</td><td>△1, 199</td></tr></table>						区 分	R6年度		R5年度		増 減		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	地区防火クラブ	53	9, 193	65	10, 392	△12	△1, 199																											
	区 分	R6年度		R5年度		増 減																																															
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数																																														
	地区防火クラブ	53	9, 193	65	10, 392	△12	△1, 199																																														
キ 幼年消防クラブの育成指導 管内の幼年消防クラブ14団体に対して、防火講話、防火映画の上映、避難訓練等を行い、防火意識の高揚を図りクラブ員の育成指導に努めた。																																																					
(6) 消防団への訓練指導 地域の暮らしの安全を守るうえで、非常に重要な役割を果たしている消防団の組織力の維持・向上に資するよう、訓練指導を行った。																																																					
<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">岩沼市消防団</th><th colspan="2">亘理町消防団</th><th colspan="2">山元町消防団</th></tr><tr><th>回数</th><th>受講者数</th><th>回数</th><th>受講者数</th><th>回数</th><th>受講者数</th></tr><tr><td>小型ポンプ操法</td><td>5</td><td>98</td><td>7</td><td>78</td><td>1</td><td>23</td></tr><tr><td>自動車ポンプ操法</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>初任団員訓練 (名取・亘理地区支部)</td><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>12</td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>礼式訓練</td><td>1</td><td>135</td><td>2</td><td>260</td><td>2</td><td>140</td></tr><tr><td>計</td><td>7</td><td>237</td><td>11</td><td>358</td><td>4</td><td>167</td></tr></table>						区 分	岩沼市消防団		亘理町消防団		山元町消防団		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	小型ポンプ操法	5	98	7	78	1	23	自動車ポンプ操法	0	0	1	8	0	0	初任団員訓練 (名取・亘理地区支部)	1	4	1	12	1	4	礼式訓練	1	135	2	260	2	140	計	7	237	11	358	4	167
区 分	岩沼市消防団		亘理町消防団		山元町消防団																																																
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数																																															
小型ポンプ操法	5	98	7	78	1	23																																															
自動車ポンプ操法	0	0	1	8	0	0																																															
初任団員訓練 (名取・亘理地区支部)	1	4	1	12	1	4																																															
礼式訓練	1	135	2	260	2	140																																															
計	7	237	11	358	4	167																																															

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																				
	(7) 県移譲事務の状況 「火薬類取締法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に係る権限移譲事務を次のとおり処理した。 (単位:件) <table><tr><th>区 分</th><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>火薬類に係る事務</td><td>8</td><td>6</td><td>2</td></tr><tr><td>液化石油ガスに関する事務</td><td>2</td><td>4</td><td>△2</td></tr><tr><td>計</td><td>10</td><td>10</td><td>0</td></tr></table>	区 分	R6年度	R5年度	増 減	火薬類に係る事務	8	6	2	液化石油ガスに関する事務	2	4	△2	計	10	10	0				
区 分	R6年度	R5年度	増 減																		
火薬類に係る事務	8	6	2																		
液化石油ガスに関する事務	2	4	△2																		
計	10	10	0																		
	(8) あぶくま消防本部管理職員研修会の開催 人材育成マネジメント能力を習得し、管理職員としての資質向上を図るため消防司令以上の階級にある職員を対象に研修会を開催した。 研修題目：部下育成のコツと効果的な指導方法 講 師：亘理町教育委員会 教育長 奥野 光正 氏 開催日程：令和7年1月31日 9時30分～11時00分																				
	(9) 緊急消防援助隊活動状況 令和7年2月26日、岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災への対応に、火災当日からあぶくま消防本部の消防車両3台、隊員9名が緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として出動した。 あぶくま消防本部からは、第1次派遣隊から第6次派遣隊まで、計19日間、総勢51名の隊員が出動し、住宅地への延焼防止や山林内での消火活動にあたった。																				
	(10) 消防車両資機材等の整備 災害の激甚化・多様化等の消防を取り巻く環境の変化に的確に対応し、消防力を維持・強化していくため、消防資機材等の更新を図った。 消防車両更新事業では、岩沼消防署にあらゆる資機材の搬送を目的とした資機材搬送車、災害現場活動を統括するための資機材を積載する指揮車、各種訓練指導、人員搬送など使用目的を限定せず幅広い用途で運用できる連絡車を更新し、消防力の充実強化を図った。 ア 岩沼消防署資機材搬送車 主要諸元 <table><tr><td>車両全長</td><td>7,200mm</td><td>燃料</td><td>ディーゼル</td></tr><tr><td>車両全幅</td><td>2,300mm</td><td>総排気量</td><td>2,990cc</td></tr><tr><td>車両全高</td><td>3,400mm</td><td>乗車定員</td><td>3人</td></tr><tr><td>車両総重量</td><td>7,500kg</td><td>駆動方式</td><td>低床型四輪駆動</td></tr><tr><td>地域仕様</td><td>-</td><td>変速方式</td><td>A/T</td></tr></table>	車両全長	7,200mm	燃料	ディーゼル	車両全幅	2,300mm	総排気量	2,990cc	車両全高	3,400mm	乗車定員	3人	車両総重量	7,500kg	駆動方式	低床型四輪駆動	地域仕様	-	変速方式	A/T
車両全長	7,200mm	燃料	ディーゼル																		
車両全幅	2,300mm	総排気量	2,990cc																		
車両全高	3,400mm	乗車定員	3人																		
車両総重量	7,500kg	駆動方式	低床型四輪駆動																		
地域仕様	-	変速方式	A/T																		

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況			
	イ 岩沼消防署指揮2号車			
	主要諸元			
	車両全長	5,750mm	燃料	ガソリン
	車両全幅	1,900mm	総排気量	2,690cc
	車両全高	2,600mm	乗車定員	5人
	車両総重量	3,500kg	駆動方式	フルタイム四輪駆動
	地域仕様	-	変速方式	A/T
	ウ 岩沼消防署連絡3号車			
	主要諸元			
	車両全長	4,600mm	燃料	ガソリン
	車両全幅	1,780mm	総排気量	1,980cc
	車両全高	1,430mm	乗車定員	5人
	車両総重量	1,650kg	駆動方式	前輪二輪駆動
	地域仕様	-	変速方式	A/T
	(1) 主な支出			
	(単位:円)			
	岩沼消防署資機材搬送車		24,453,000	
	岩沼消防署指揮2号車		20,460,000	
	消防情報処理サーバ		6,050,000	
	岩沼消防署連絡3号車		3,420,934	
	消防職員用被服		9,503,003	
	消防デジタル無線・通信回線利用経費		5,775,222	
	消防指令システム・デジタル無線保守点検料		6,160,000	
	寝具賃借料		2,113,894	
	消防用ホース(28本)		1,507,000	
	メディカルコントロール業務委託料		1,439,900	
	高圧空気容器(6本)		1,326,600	

